

# 梯きざはし

きざはし【階】(梯)はしご段。地域の皆様と健康生活へのかけはし。



地方独立行政法人  
**那覇市立病院**

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1  
TEL 098-884-5111 (代表)  
TEL 098-887-1199 (急病センター)

<http://www.nch.naha.okinawa.jp/>



地方独立行政法人  
**那覇市立病院**

## ●●●● 理念「和と奉仕」 ●●●●

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するように努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院をめざします。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

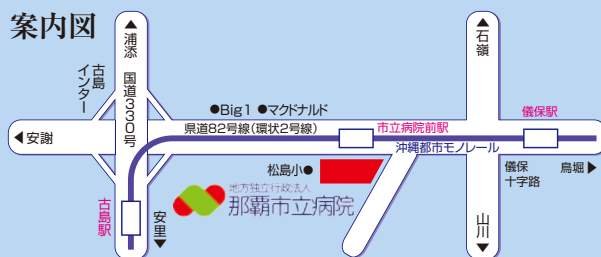
## ●●●● 「患者の権利」 ●●●●

- 一、誰でも、人権が尊重され平等に良質な医療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分で病院や診療方法を選ぶ権利をもっている。
- 一、誰でも、十分な説明のもとに診療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の治療上のプライバシーが尊重される権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の診療記録の開示を求める権利をもっている。

## CONTENTS

年頭の挨拶	2
“漏斗胸教室”について	4
「禁煙外来」は役にたたないと思っているあなたへの招待状	5
NICU(新生児集中治療室)紹介	6
診療情報管理室紹介	7
出産体験記	8
アフターファイブ活動期 パレーボール	9
第2回沖縄県緩和ケア研修会2010	10
第46回糖尿病週間	11
那覇・浦添COPDネットワークをご存知ですか?	12
献立紹介／ふれあいポスト	13
登録医紹介	14

## 案内図





## 年頭の挨拶

病院長 與儀 實津夫

平成23年を迎えて、一言ご挨拶申し上げます。

昨年平成22年、那覇市立病院は開設30年を迎えることが出来ました。その記念式典には、翁長那覇市長をはじめ市関係者や多数の関連病院の方々約500人の参加をいただきました。心より感謝申し上げます。

今年は「地方独立行政法人 那覇市立病院」として再出発をしてからついに4年目という大事な節目の年になりました。

当院は「和と奉仕」の理念のもとに、「医療機能評価病院」「がん診療拠点病院」「臨床研修指定病院」として、医療レベルの向上に努めて参りました。そして昨年11月、念願であった「地域医療支援病院」の名称を晴れて許されたことを改めてご報告し、これからも、小児・産婦人科を含めた365日24時間救急医療を市民へ継続して提供することが出来るように職員一同努力してゆきたいと思っております。

平成23年が良い年でありますように、またこの広報誌が那覇市立病院関連の皆様への医療情報源として役立つことを祈念してやみません。



## 年頭の挨拶

副院長兼診療部長 久高 弘志

新年を迎えるにあたり謹んでお慶び申し上げます。旧年中は地方独立行政法人那覇市立病院をご支援いただき有り難うございました。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、6月に5階をリニューアルし、健診センターをオープンすることができました。人間ドックだけでなく、2人の健診専従医師が那覇市の医療行政と協力してがん検診や特定検診も行っています。10月には職員の努力で地域医療支援病院の施設認定を受けることができました。南部医療圏の基幹病院として、緊密な病診連携をおこない、なお一層地域のクリニックのお役に立てるように、支援していきたいと思っております。さらに病院開設30周年記念式典も行うことができました。膨大な赤字を出して苦しい時期もありましたが、それを乗り越えて、現在独立行政法人化後3年目となり、病院経営も順調に推移しております。今後の課題として建築後30年経った病院の建て替えの問題があります。市民のご理解を頂き、6~8年後の新病院の竣工を目指して計画していきたいと思っております。



## 地域の「医療支援」部への脱皮を図る新年へ

副院長兼医療支援部長 照喜名 重一

明けましておめでとうございます。2K Yと大騒ぎしつつ迎えた新世紀も、新自由主義とやりに翻弄されるばかりでわが医療界にとっては明るい話題に乏しいものでした。また、○△市立病院が破産したとか閉鎖するとか「医療崩壊」の一端がマスコミ報道されるたびに、同じような公立病院である当院としてはヒトゴトではすまされない年もたびたびでした。そのようなあわただしい新世紀の10年もあっという間に過ぎ、新しい「10年」が始まります。今年こそは希望の見える年にしたいものです。

さて、那覇市立病院が昨年末に「地域医療支援病院」として沖縄県から認定されました。これは「総合病院」というカタガキを失って久しい市立病院にとっては画期的なことです。

これからは地域全体として医療を「完結」させるべく、今まで以上に皆さまと連携を密にし、また強化していかなければならないと肝に銘じております。わたしたち医療支援部は、この「きざはし」で各部署を紹介してまいりましたように、いろいろな機能や役割を担っております。これからは文字通り「地域」の「医療支援」部として多彩な要望に応えるべく医療サービスを提供する心づもりです。なお一層の皆さまのご鞭撻を賜りますようお願いして年頭に当たってのご挨拶といたします。



## 年始のあいさつ

副院長兼脳神経外科総括部長 島袋 洋

明けましておめでとうございます。今年は卯年、飛躍・跳躍の年と言われています。

昨年10月12日に取得した『地域医療支援病院』の名に恥じる事の無いように、更なる地域医療連携の展開ができる地域中核病院を目指します。

診療科別、疾患別での入院受け入れで、患者さんに不愉快な思いをさせたこともありましたが、「ベッドコントロール室」を設置し、急病センターと協働して入院ベッドは効率良く機能するようになりました。入院予定の患者さんが入院準備を気持ちよく、不安なくできるように、お手伝いをさせて頂くための「入院準備センター」も設置されました。未だ全科には至っていませんが、一日も早く全科に展開され、効率良く機能できるようにします。

また、近々に「脳卒中センター」を立ち上げ、「脳卒中は那覇市立病院で」と市民の皆様から言われるように努力します。

『患者さんのため』の、“より高度な医療・効率の良い医療”を目指すことが、医療の原点、地域医療連携の神髄と考え、職員一同日々努力しますので、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 年始のご挨拶

副院長兼看護部長 中森 えり

2011年、あけましておめでとうございます。

那覇市立病院は地方独立行政法人化後、3回目の新年を無事迎えることができました。これまで支援していただいた皆様に深く感謝申し上げます。

今年は中期計画4年の最後の年でもあります。目標達成のためには、いくつかまだ取り組まなければならないことが残っておりますが、法人化することで今までできなかったことが可能になり、多くのことが実現しつつあります。

看護部門では、7：1看護体制の維持、一部2交代制の導入をはじめ、ストーマケアやリンパ浮腫ケアなどの看護外来と呼吸ケア・栄養サポート・褥創ケアなどのチーム医療において、より専門的な知識と実践力を持った看護師が活躍できるようになりました。人材育成には時間がかかりますが、少しずつ蒔いてきた種が育ち、豊かな果実に成長しつつあることを心からうれしく思っています。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。



## 年始の挨拶

事務局長 宜保 哲也

新年明けましておめでとうございます。

振り返りますと、昨年は当院が開設30周年の節目の年であったと同時に、地域医療支援病院の名称を取得することができ、いずれも地域医療機関のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

日本病院会が行った平成22年度診療報酬改定影響度調査によれば、81.6%の病院で収益が増収となり、その増加額は前年同期比で6.26%だったとのことでした。しかし、最近の社会情勢をみると、アメリカの格付け会社が日本国債を1ランク引き下げし、政界では消費税の引き上げや緊縮財政への方向転換が議論され始めるなど、予断を許さない状況になりつつあります。

今後は安全で質の高い医療と同時に、効率性も求められることが時代の趨勢といえるでしょう。そのためには地域医療機関同士の役割に応じた連携がますます重要となっています。当院は地域医療機関との連携を強化し、ウイン・ウインの関係を築くことを目指しています。

今年はいさぎ年、共に飛躍するいい年にしていきましょう。



# “漏斗胸教室”について

小児外科 山里 将仁

漏斗胸は胸の中央部が凹んでいる疾患で、約500人に1人とされ、男児に多く認められます。小児期に症状はないのですが、胸郭変形は成長ともに進行し、停止時に固定化します。また漏斗胸患児は肩が前に出て、肩甲骨が広がり、背筋が曲る猫背の状態にあります。その姿勢がさらに胸郭変形を際立たせているのです。症状には友達と同じ様な運動が出来ないことや、心電図などの異常、加えて側弯症の発症もあります。その変形に対する精神的劣等感の形成は、学童期以降に問題となります。

外科治療は整容的側面を含め、これらの問題を総合的に解決する手術手技が必要でした。現在最も広く行われているNuss手術は、手技が容易で侵襲も少なく、整容的側面にも優れているため標準術式として定着しました。しかし、残念ながら術中・術後の合併症がみられることも事実です。

最近凹んだ部分をベル型の器具で吸引し胸郭を矯正する保存的治療が報告されました。考案者のE. Klobe氏自身が漏斗胸で、この治療法で軽快していますし、筆者もその有効性を確認しています。

そこで、外側から持ち上げる吸引治療に加え、内側から胸郭を持ち上げて同時に姿勢を矯正する、新しい漏斗胸体操を考案しパンフレットを作成しました。これは筆者が最近話題の古武術介護の動きから、古武術の動きに興味を抱き、その可能性を広げ稽古して行くうちに考案したもので、体幹を如何に使うかが基本となります。胸郭を吸引で上げるためには胸郭のストレッチが必要で、そのための手法として白神氏の考案したフィジカルマネジメントもとり入れています。現代の子供たちは、テレビゲームに携帯電話ゲーム・パソコン・



## 漏斗胸体操

体操は1) フィジカルマネジメント呼吸法  
2) 実際の運動からなります。

毎日続けることが大切です。

姿勢に気をつけながら続けていきましょう。

那覇市立病院 小児外科

## 漏斗胸教室



運動を教えているところ



運動教室参加者

インターネットとバーチャルの世界の遊びが多く、身体を使

う遊びが無くなり、長座や正座ができない子も多くいます。“健全な精神は健全な肉体に宿る”という言葉もあります。今、必要とされているのは、身体の不思議さを感じてもらふことだと思います。そのため武術的な要素も取り入れ興味を持って運動ができるよう、“漏斗胸教室”をH22年夏に行いました。侵襲のさらに少ない“手術しない胸郭形成法”として発展させたいと思っています。漏斗胸教室は年に1回から2回開催いたします。ぜひご参加下さい。



足裏の垂直離陸を使った運動

両方の足の裏を水平に上げるように足に力を入れる。同時に息を吸い背中・肩筋肉は下へ下腹部は上に持ち上げるようにする。矢印は力の方向これで胸郭下部が自然に持ちあがる。5～10秒静止し元に戻る。3～5回足を交えて行う。

# 「禁煙外来」は役にたたないと 思っているあなたへの招待状

呼吸器内科 照喜名 重一

タバコをやめたいという方を支援することが保険診療で認められるようになった2006年4月以降、多くの病院で「禁煙外来」が設けられてきました。嗜好の問題と片付けられていたのが、ニコチン依存症というリッパな病名をつけられて、「治療すべき疾患」として広く認識されつつあります。はじめの頃はタバコに含まれるニコチンの代替療法としてガムやパッチだけでしたが、2008年からは経口剤も認可されました。この薬（商品名：チャンピックス）は禁煙に伴う離脱症状を抑え、たとえ喫煙してもその満足感を抑制するという興味深い作用を「ウリ」にしている内服薬です。禁煙が「楽にできる」と喧伝されてもいます。

ところで、高血圧症、糖尿病、高脂血症で内服治療中のNさんから「禁煙外来」へクレームがありました。「禁煙外来」に通院したが禁煙できなかつた、一日30本も吸っていたのが数本まで減ったが、チャンピックス錠を3月間も服用したのに禁煙には成功しなかつたというものです。

Nさんは降圧剤2種類、血糖降下剤2種類、高脂血症の薬1種類を毎日服用しており、また毎月1回来受診し血液検査などを測定してもらっていました。検査室の待合に張られているポスター（図1）を見て、以前、主治医からもタバコをやめないと脳卒中や心筋梗塞になるぞと脅されていたことを思い出し、またニコチンガムで過去に禁煙に失敗した反省もあり、薬に禁煙できるなら内服薬が5種類から1種類増えてもガマンできると期待して禁煙外来を受診したものでした。

小太りのNさんは従来、食事療法がうまくいかず降圧剤や血糖降下剤などが増えて結局5種類の内服薬を数年来服用しているのです。

さて、ニコチン依存症にはふたつの側面があります。ニコチンが脳内で刺激を与え快感や報酬感が得られます。これを繰り返すうちにニコチンがないとイライラや落ち着かないなどの禁断症状があらわれます。これが①身体的依存です。タバコを吸って良かった時の過去の記憶からの喫煙や日々の生活習慣としての喫煙などを②心理的依存といいます。

Nさんのごとく生活習慣病を抱えていて、生活改善の必要性を示唆されても、食生活の習慣を変えることが困難を極めるように、生活習慣を中心とした心理的依存はニコチン依存症でも手強い因子です。Nさんも食後の一服、大事なお客への営業活動前の一服のが最期まで克服できないものでした。高血圧症、糖尿病などの治療薬のように年余にわたって服用できる禁煙薬は、Nさんの希望にもかかわらず残念ながら今のところ、保険診療ではありません。（3週間までは保険診療）

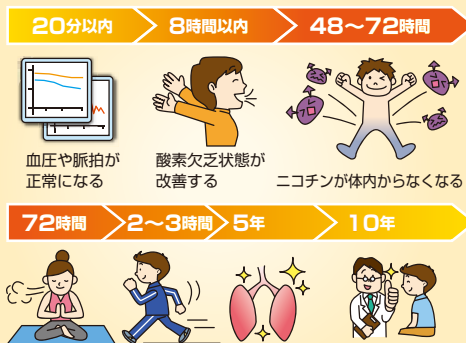
究極の禁煙の秘訣はネバーギブアップ（図2）ともいいます。

逆説的ですが失敗は成功の母です。生活習慣の修正を試みる事で再度の禁煙への再チャレンジをNさんにも勧めました。

禁煙外来では禁煙を「支援」する12週間のプログラムを用意しております。



（図3）禁煙したとき身体に起る変化



（図2）



（図4）禁煙外来を受診してよかったこと



「禁煙は難しい。これだけ長く吸ってきたし、今更やめても・・・」と思う方もいらっしゃるでしょうが、禁煙を始めるタイミングに遅すぎるということはありません。禁煙外来への予約をお待ちします。

最後に禁煙のメリットを示します（図3, 4）。

# NICU (新生児集中治療室) 紹介

NICUは、小児科病棟と併設しており、1999年10月1日に開設しました。

地域周産期母子センターと連携して、地域の新生児医療に携わっています。早産児・病的新生児・出生体重1500g以下の極低出生児など、年間約120～140人の新生児入院を受け入れており、小児科・脳神経外科・眼科協力のもと赤ちゃんにやさしい環境づくり、効果的な医療・質の高い看護を提供できるよう心がけております。

## NICUの概要

病床数は11床 (NICU6床・GCU(新生児治療回復室) 5床)

主治医制・3交代の看護体制をとっており、医師10名・看護師17名(パパナース1名含む)が従事しています。

受け持ち看護師を中心に育児指導を行って、お母さんたちが安心して退院できるようにサポートしています。

また、必要な時にはソーシャルワーカーがパイプ役となり、地域の保健師、訪問看護師を招いて、医師、看護師、関わるスタッフで関係者会議を実施、退院後の環境調整を行っています。

## 今後の課題

NICUに入院したことで、不安を抱えているご家族に早期にかかわり、メンタルサポートや、育児支援することで、患者参画型の医療チームの充実を目指していきたいと思っています。



保育器の中で清拭



お母さんが沐浴後のお着替え



K先生超音波検査中!



パパナースのSさんケア中



モニターに囲まれて・・・



光線療法中です

## 診療情報管理室

従事者6名（職員3人・委託職員3人）

那覇市立病院開設と同時に本館2階に病歴室としてスタートしました。  
データ量の増加に伴い平成15年4月に現在の北館地下2階へ移動。  
名称も病歴室より診療情報管理室へ変更しています。

### 業務内容は

#### ① 診療記録に関すること

- ・ 電子カルテ等から「診療情報」のデータを収集し、入院診療情報管理システム（病歴大将）へデータ入力。
- ・ 入力データからの統計作成。
- ・ 電子カルテ記載データの正誤性のチェック。
- ・ 退院サマリー（入院診療要約）のチェック、未記入サマリリーの記載依頼。
- ・ カルテ・フィルム管理。

#### ② 院内がん登録・地域がん登録。

（入院分平成17年開始、外来分平成20年開始）  
（平成21年1月～12月 700件登録）

#### ③ 個人情報開示。

患者さんとの直接の関わりは少ないですが、病院の大事な診療情報のデータ収集、管理を行い診療支援業務に努めています。



## 出産体験記



嶺井 えり子



平成23年1月  
2日 午前8時  
43分 寒さ厳  
しい朝、夫と長  
女が見守る中

嶺井政志 (ミネイマサユキ)

市立病院で3320gの男の子を無事出産しました。陣痛に気づいて病院に到着したのが午前7時30分、あっという間に分娩台へ上がり、先生の「子宮口全開だよ、もういきんでもいいですよ」との満面の笑みが視界に

はいりました。1回目いきんで「はい頭出たよ、次肩出そうね」、2回目いきんで「もう出たよ！大丈夫よ。終わりましたよ」との声。

「本当に？もういいの？」が、私の第一声でした。

前回の出産では微弱陣痛で、促進剤を飲みながらの「苦しい出産」の印象が強く、相当の苦しみを覚悟していた私には肩透かしの状態でした。

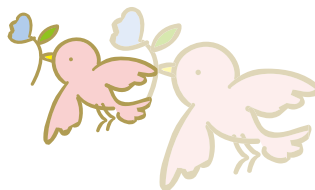
でも、間もなくして腕の中に我が子の重みを感じた時、何事もなく健康に生まれてきてくれた事に心からほっとしました。そして、その瞬間を家族とともに分かち合えたことに感謝の気持ちと幸福感でいっぱいになりました。心配したのが一緒に立ち会ってくれた娘の反応でしたが、しっかりと私の手をにぎってくれ、冷静に様子を観察していたようです。「お母さん、赤ちゃんて初めは青いんだね。」が最初の感想でした。

私にとっては、娘がそばにいてくれることがとてもはげみになりました。娘の前で取り乱した姿は見せられないという気持ちが強かったのかもしれませんが。

妊娠中は、39歳という年齢や久しぶりの出産ということもあり、いろいろなことで不安になり眠れぬ夜もありました。でも、職場の方々にはいろいろな場面でサポートしてもらい、また、外来や病棟の看護師さん、先生方には常に声かけしていただいて、疑問や不安なことをその都度アドバイスや相談にのってもらいだいぶ取り除くことができました。そのおかげでこんなにも順調な出産ができたのだと思います。

私は周りのたくさんの人、家族に支えられ無事出産までたどり着けることができました。

そしてこれからも子育てするうえでたくさんの方の手を借りてやっていくのだと思います。今回の出産で、そのことを改めて実感しました。そのことに感謝の気持ちを忘れずに、子どもと共に成長していけたらな。と思います。まだまだ未熟な母親ですが、よろしくね、子ども達！







経営企画室 金城 博之

平成22年10月13日～28日の日程で開催された那覇市厚生会主催の「第38回各課対抗バレーボール大会」に、前年に引き続いて市立病院診療部（医師、看護師、技師の方々で構成）、事務局から市立病院HAYPERチーム（勝ちたい組）・市立病院SUPERチーム（楽しみたい組）という気合の入った3チームで参加しました。

今年は大会の2か月前となる8月13日から練習を開始。事務局・診療部と他部署間の交流を図りつつ、本庁の方々も交えて賑やかな雰囲気の中で練習に励み、各チームの結束を固めて試合に臨みました。

まず、先陣を切ってSUPERチームの1回戦。対戦相手の中央消防署にパワーで圧倒されて(?)惜しくも敗れてしまいましたが、雰囲気がとても良くて観ているコチラも楽しめた1戦でした。

続いてHYPERチームと診療部は1・2回戦を順当に勝ち抜いてベスト16へコマを進め、さらに3回戦も勝ってベスト8! 全62チームが参加している中、好成績と言えるでしょう。

ベスト4を決める4回戦は、HYPERチーム対診療部という那覇市立病院同士の対戦が実現! 双方とも力が入った熱戦を繰り広げ、勝利を掴んだのは診療部。敗れた私たちは、診療部の優勝を信じて応援する側へと回りました。

勢いに乗った診療部はとうとう決勝戦へ。バレーボールチームとしてはかなり本格的な域に達しているため、そのまま優勝するかと思いきや…鉄壁の守備力を誇る対戦相手に阻まれて準優勝という結果になりました。

前回はHYPERチームが3位、今回は診療部が2位という好成績。来年こそはと気持ちを切り替えて、それぞれの業務へと情熱を注ぎつつ次の活動時期を待ちます。



## 「第2回沖縄県緩和ケア研修会2010」

平成23年1月23日（日）、30日（日）「第2回沖縄県緩和ケア研修会2010」が、那覇市立病院3階講堂で開催されました。1日目59名・2日目51名（薬剤師・看護師含む）が、朝9時から夕方6時までの厳しい日程を修了しました。受講者の年齢も28歳から72歳と幅広く、研修への意気込みが感じられました。

当研修会は、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得し、治療の初期段階から緩和ケアが提供される」ことを目標にしています。県内では平成20年度を含め5年間に20回開催予定で、今後のがん診療では、当研修会修了医であることが求められます。地域がん診療連携拠点病院の指定要件でもあり、当院でも毎年1回主催しています。昨年までは2日間連続で開催していましたが、診療所の医師等からの要望もあり、日曜日の2回に分け単位制とし、A日程修了後にB日程はどちらかの拠点病院で受講できるようになりました。

この研修会の特徴は、講義形式の研修だけではなく、参加者間のコミュニケーションが重要となる参加者主体の体験型研修（ワークショップ）形式の研修が含まれていることです。

講師は、県内で緩和ケア指導者として活躍している医師・薬剤師が務め、基本的な知識の講義とともに、がん性疼痛の評価や治療・処方箋の作成等が実際に行われました。

また、コミュニケーションスキルでは、「オピオイドを開始するとき」、「悪い知らせの伝え方」についてロールプレイが行われ、最後は地域毎に療養場所の選択や緩和ケアにおける地域連携の問題点等を話し合いました。



アイスブレイキング（自己・他己紹介）



医師役、患者役の役作り



グループで意見交換



地域連携と治療・療養の場所の選択について考える



修了された皆さん、お疲れ様でした



講師も一緒に、修了後の交流会

# 第46回糖尿病週間

2010年11月8日(月)～11月14日(日)

テーマ『糖尿病 山あり 谷あり エーワンシー(HbA1c)』

11月8日から11月12日の期間、上記のテーマに沿ってパネルと食品模型を展示しました。  
体脂肪測定(13:30～15:00)も行いました。



1階ロビーにて

この時期に合わせて当院の糖尿病友の会「いらかの会」会員の為の行事を行っています。昨年はウォーキングを実施。今年は食事会(バイキング)で12日(金)11:30～実施しました。(ウォーキングと食事会と交互に実施しています)



## 実施メニュー

- ①実施メニュー ②クファジューシー
- ③かぼちゃの煮物 ④焼きとうもろこし
- ⑤果物(柿・ブドウ・キウイ)
- ⑥ささみフライ ⑦チーズオムレツ
- ⑧鮭のホワイトソースかけ ⑨湯豆腐 ⑩ヨーグルト
- ⑪もずくの酢の物 ⑫野菜炒め ⑬大根サラダ
- ⑭みそ汁(なめこ・ネギ)
- ⑮杏仁豆腐 ⑯ケーキ



バイキングの様子



バイキングを担当した 調理師・栄養士



# 那覇・浦添COPDネットワークを ご存知ですか？

全身疾患といわれているCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者さんを、地域医療でサポートしていくため、那覇・浦添COPDネットワークを始めました。かかりつけ医と那覇市立病院呼吸器専門医の二人の医師がフォローを行います。症状が落ち着いているときの診療はかかりつけ医が行い、また半年に一度、那覇市立病院呼吸器専門医が診療・検査を行います。「COPD手帳」は、かかりつけ医と那覇市立病院が患者さんの診療計画、検査結果、治療経過を共有し、スムーズに治療が行われるよう活用される事を目的としています。



こんなときは、COPD手帳を持ってかかりつけ医の受診を！！  
夜間、休日であれば那覇市立病院急病センターを受診してください。  
(COPD手帳を持ってきてください)

- ◎ 息切れ、呼吸困難感が強くなった
- ◎ 痰が増えた
- ◎ 痰に色がついてきた（黄色、緑、青）
- ◎ 38度以上の発熱
- ◎ 呼吸があらい
- ◎ 話すのが困難
- ◎ 歩くことが困難
- ◎ 脈がとても速い、又は、不規則になっている
- ◎ 薬が効かない
- ◎ むくみがでてきた

三人の医師があなたをサポートします。

## COPDネットワーク

### 那覇市立病院



- 症状悪化時は、急病センターで対応します。

\* 症状に応じて、病院との連携を取り合いながら治療方針を決定します。

\* 年に2回受診していただき、肺機能の評価と合併症の検討を行い、治療方針の参考とします。

### 地域診療所

(かかりつけ医)



- 普段の治療と、日常生活上のきめ細やかな管理を行います。
- 定期受診し治療の評価を行います。

症状悪化時の治療（急性期）

普段の治療（安定期）



何か困ったことがありましたら、かかりつけ医、または那覇市立病院担当医へご相談下さい。また、那覇市立病院地域医療連携室でも相談を受け付けておりますのでお気軽にご相談ください。

## 献立紹介



### 第46回糖尿病週間にて実施したバイキングの中から人気のあったメニューのレシピを紹介します。

1人前 120kcal

サーモンのホワイトソースかけ

材料 銀鮭1切れ(40g)  
塩・コショウ適量  
ホワイトソース  
(無塩バター2g、小麦粉2g、  
牛乳20ml、塩適量)  
パセリ



- ① 鮭は、下味を付けオーブンで焼きます。
- ② ホワイトソースを作ります。
- ③ 皿に①を盛り付け、②のホワイトソースをかけてパセリをちらせば出来上がりです。

## ふれあいポスト



### ふれあいポストとは

当院では、院内各所にふれあいポストを設置することにより、病院を利用される方々から病院に対する意見・希望・苦情等を収集し、患者満足度調査アンケートにもご協力頂いております。これを基に当院では患者サービスの向上に役立てます。

ご意見

入院中においてテレビをよく使用するのですが、テレビカード代が高く感じます。1日1枚使用するので1000円は使います。安くなりませんか？

回答

各病棟のお部屋に設置してありますテレビについて使用するカード代が高いとのこと指摘ですが、テレビは当院で管理しているわけではなく、業者の管理下にあります。当院だけではなく他の病院においても同額の料金設定に近いと聞いております。業者との契約上、料金値下げの変更することは簡単な事ではないため、料金値下げのご要望には残念ながら、患者さんのご理解が必要になってまいります。なお、今後料金設定に変更等がありましたらご報告並びに通知を致します。貴重なご意見ありがとうございました。

# 登録医紹介 当院と連携している登録医を紹介しています。

## 曙クリニック

AKEBONO CLINIC



診療科：内科 外科

〒900-0002  
那覇市曙3丁目20-14

電話 863-5858

胃カメラ・大腸カメラなど  
消化器内視鏡検査が可能です。

一般内科・外科を行っています。



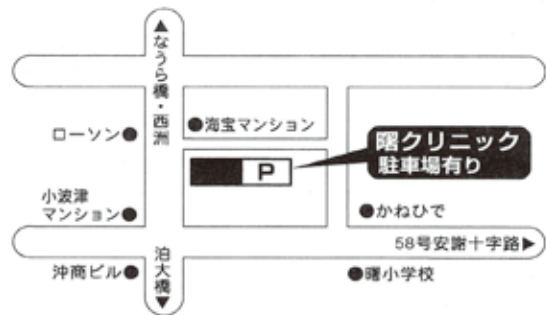
院長 玉井 修

当院の『場所がわかりづらい』とのお言葉を頂いています。  
その際はお電話でご連絡下さい。

	月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	○	○	○	○	○	○
午後 2時～6時	○	○	×	○	○	4時半 まで

※ 午前は9時から12時まで、午後は2時から6時まで。  
土曜日は午後4時半までです。

**日曜・祝祭日は休診です。**



## アラカキ眼科

院長 新垣 均

開院して10周年を迎えることができました。  
これからも来院される方が、安心して治療を  
受けられるような環境作りを心がけていきます。

【診療内容】

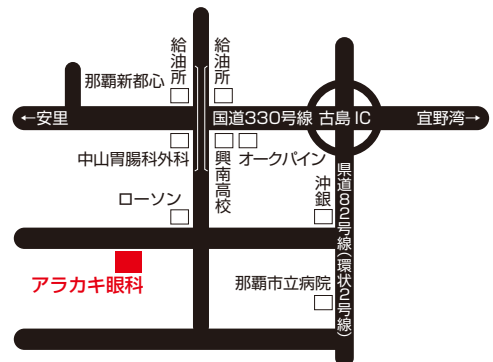
眼科一般・白内障日帰り手術・緑内障  
糖尿病性網膜症・レーザー治療  
コンタクト処方

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
午後 1:30 ~ 5:30	○	手術	○	手術	○	×

休診日：日曜日・祝祭日・土曜日午後

〒902-0068 那覇市真嘉比93番地の1

TEL 884-0010



当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。  
 オープンシステムも備えていますのでぜひご利用下さい。  
 お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL 098-884-5134(直通)



# とのおくら整形外科

院長 砂川 憲政

TEL.098-884-3322  
<http://www.toonokura-os.jp>



## 診療科目

- 整形外科
  - リウマチ科
  - リハビリテーション科
  - スポーツ整形
- 理学療法士による運動器リハビリ行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:00 ~ 6:00	○	○	○	△	○	○

※土曜日午後は4:00まで  
 ■休診日 / 日曜日・祝祭日・木曜日午後



〒903-0812 那覇市首里当蔵町2-14-2F  
 建物裏に専用駐車場有り



Shimajiri Kinsermae  
 Diabetes Care Clinic

# 島尻キンザー前クリニック

糖尿病代謝内科・一般内科

院長 島尻 佳典

〒901-2126 浦添市宮城1-29-1 1F

☎ (098) 963-9010 <http://www.kinsermae-cl.com/>

診療日・時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	△	○	○	△

※各種健診・骨密度測定・ハリ治療も行っております。





# 外来担当医師表



地方独立行政法人  
那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1  
TEL 098-884-5111(代)

科名	診療	月	火	水	木	金	受付時間・特殊外来等	
内科	総合初診	旭 朝弘	喜屋武 幸男	仲地 紀哉	照喜名 重一	豊見山 良作	※総合初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 【肝臓専門外来】 毎週月・木曜日 8:45~11:00 担当医：宮里 賢 【循環器専門外来】 毎週水曜日 13:00~16:00 担当医：崎原 永啓 【神経専門外来】 毎週木曜日 8:45~11:00 担当医：小林 奏 【禁煙外来】 毎週木曜日 13:00~16:00 担当医：照喜名 重一 【予約再来における主な担当分野】 呼吸器：喜屋武・知花・照喜名 消化器：島尻・仲地・豊見山・金城 循環器：崎原・田端・比嘉・旭・眞志取 腎臓・透析・膠原病：宮良・糸数 血液：新垣・内原 糖尿病・内分泌：豊見永・平良 神経：小浜 ※火曜日の神経内科は予約の患者さんのみの受付になります。 ■は紹介状持参の患者さんのみの受付になります。 ※同一診察室で午前、午後の担当医が異なる場合は原則として午後1時をその区切りとします。	
		金城 謙	馬淵 仁志	佐渡山 伸子	宮里 賢	内原 潤之介		
		佐久間 淳	照喜名 重一	座間味 亮	馬淵 仁志	今井 雅弘		
		再 一診	知花 なおみ	小林 奏		■神経外来		喜屋武 幸男
		再 二診	眞志取 多美	糸数 昌悦	崎原 永啓	島尻 博人		崎原 永啓
		再 三診	崎原 永啓	平良 剛	新垣 均	平良 剛		仲地 紀哉
	総合初診	三診	宮里 賢	内原 潤之介	豊見永 辰美	田端 一彦	照喜名 重一	
		六診	豊見永 辰美		比嘉 南夫	宮良 忠	循環器外来	
		再 一診	比嘉 南夫	新垣 均	照喜名 重一	眞志取 多美	比嘉 南夫	
		再 二診	佐渡山 伸子	今井 雅弘	大平 哲也	佐久間 淳	與那嶺 圭輔	
		再 三診	照喜名 重一	座間味 亮			大平 哲也	
		再 五診	喜屋武 幸男	知花 なおみ	島尻 博人		新垣 均	
小児科	一般診療	一診	知念 正夫	屋良 朝雄	伊波 徹	渡久地 鈴香	知念 正夫	
		二診	渡久地 鈴香	宮本 二郎	神谷 素子	桃原 由二	渡久地 鈴香	
		三診	今給黎 亮	古波蔵 都秋	宮本 二郎	古波蔵 都秋	今給黎 亮	
	乳健・予防接種	一診	神谷 素子	知念 正夫	■知念・古波蔵	屋良 朝雄	屋良 朝雄	
		二診	宮本 二郎	桃原 由二		今給黎 亮	桃原 由二	
		三診	屋良 朝雄			宮本 二郎	神谷 素子	
	特診	【遺伝相談】	成富 研二					
		【心エコー】	伊波 徹					
		【発達・知能検査】	田川 友紀子					
		【内分泌】	渡久地 鈴香					
		【神経外来】	城間 直秀					
		【在宅外来】	神谷 素子					
外科	初診	宮里 浩	山城 和也	久高 弘志	久高 弘志	永吉 盛司		
		初診:消化器G	初診担当医	宮里 浩	友利 寛文	宮国 孝男		
		小野 亮子	初診:消化器G					
	午後	大城 健誠	比嘉 宇郎	上原 忠司	久高 弘志	大城 健誠		
		初診:消化器G	山里 将仁	■宮国 孝男	山城 和也	初診:消化器G		
		(初診は消化器Gにて対応)	友利 寛文		山里 将仁	※山城 聡		
■宮国 孝男	第2・第4火曜日	緩和ケア外来			(初診は消化器Gにて対応)			
	乳腺・甲状腺外来:久高弘志・宮国孝男	肝臓・胆嚢・膵臓:山城 和也	小児外科:山里将仁	胸部(呼吸器)外科:上原忠司	消化器外科:宮里 浩			
	漢方外来:友利 寛文 第1・3・5火曜日 14:00~17:00	*緩和ケア外来:友利 寛文 第2・第4火曜日 14:00~17:00 予約制	※【循環器外科外来】 第4金曜日(14:00~16:00) 担当医:山城 聡	■印は、予約・紹介状のある患者さんのみの受付となります。				
整形外科	初診	仲宗根 朝洋	大城 互	紹介状持参の方のみ	玉城 一	紹介状持参の方のみ		
		再 来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋	
		勢理客 久	山川 慶	岳原 吾一	吳屋 五十八	岳原 吾一		
	午後	初診	勢理客 久	山川 慶	吳屋 山川(交替)	吳屋 五十八	岳原 吾一	
		再 来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋	
		岳原 吾一						
産婦人科	午前	永山 千晶(産科)	池宮城 梢(産科)	渡嘉敷 みどり(産科)	池宮城 梢(産科)	北條 真子(産科)		
		當間 敬(婦人科)	北條 真子(婦人科)	池宮城 梢(婦人科)	永山 千晶(婦人科)	當間 敬(婦人科)		
	午後	平川 誠(産科)	永山 千晶(産科)	當間 敬(産科)	渡嘉敷 みどり(産科)	永山 千晶(産科)		
		池宮城 梢(婦人科)	平川 誠(婦人科)	北條 真子(婦人科)	平川 誠(婦人科)	渡嘉敷 みどり(婦人科)		
脳神経外科	午前	島袋 洋	百次 仁	※島袋 洋	島袋 洋	百次 仁		
		豊見山 直樹	石川 智司		豊見山 直樹	石川 智司		
	午後	島袋 洋	石川 智司	手術	豊見山 直樹	百次 仁		
			松山 美智子		松山 美智子			
皮膚科	午前	林 健太郎	新嘉喜 長	新嘉喜 長	林 健太郎	新嘉喜 長		
		新嘉喜 長	林 健太郎	林 健太郎	新嘉喜 長	林 健太郎		
	午後	外来手術	林 健太郎	新嘉喜 長	林 健太郎	新嘉喜 長		
			新嘉喜 長	外来手術	林 健太郎	新嘉喜 長		
眼科	午前	今泉 綾子	新垣 里子	今泉 綾子	目取眞 市子	※與那原 理子		
		與那原 理子	(初診のみ)	與那原 理子		目取眞 市子		
	午後	新垣 里子	手術	目取眞 市子	手術	特殊検査・治療のみ		
		特殊検査・治療のみ		特殊検査・治療のみ				
泌尿器科	午前	宮城 友香	山城 清治	吳屋 真人	山城 清治	吳屋 真人		
		吳屋 真人	松村 英理	山城 清治	宮城 友香	宮城 友香		
	午後		※山城 清治		※山城 清治			
耳鼻咽喉科	午前	神谷 義雅	比嘉 輝之	神谷 義雅	嘉数 光雄	嘉数 光雄		
			■嘉数 光雄		■神谷 義雅			
	午後	*新濱 明彦	■嘉数 光雄	■比嘉 輝之	■神谷 義雅	■比嘉 輝之		
					■嘉数 光雄			
精神科	午前	小林 敬	屋宜 盛秀	*名古屋 和吉	屋宜 盛秀	嘉手納 志乃		
				*名古屋 和吉				
	午後	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹		
放射線科	午前	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	手術	仲宗根 康雄		
		津波古 判	津波古 判	津波古 判	立津 政晴	津波古 判		
	午後							
歯科口腔外科	午前	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	手術	仲宗根 康雄		
		津波古 判	津波古 判	津波古 判	立津 政晴	津波古 判		
	午後							
リハビリテーション科	午前							
	午後							
救急	午前							
	午後							

\*土・日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始は急病センターにて終日診療  
 \*手話通訳を希望される方は予約が必要となります。事前に医療福祉相談室にご連絡ください。医療福祉相談室(内線127)